

平成19年8月27日

各 位

会社名 株式会社 セキド  
代表者名 代表取締役社長 関戸 正実  
(コード番号 9878 東証第二部)  
問合せ先 取締役執行役員総務部長 弓削 英昭  
TEL. 042-643-6835

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年4月13日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせします。

### 記

#### 1. 平成20年2月期中間業績予想の修正(平成19年2月21～平成19年8月20日)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	12,100	20	100
今回修正予想(B)	12,100	60	160
増減額(B-A)	——	40	60
増減率(%)	——	200.0	60.0
(ご参考) 前年中間期実績(平成19年2月中間期)	15,335	△ 483	△ 3,192

(金額の単位:百万円)

#### 2. 平成20年2月期通期業績予想の修正(平成19年2月21～平成20年2月20日)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	25,000	200	260
今回修正予想(B)	25,000	240	320
増減額(B-A)	——	40	60
増減率(%)	——	20.0	23.1
(ご参考) 前期実績(平成19年2月期)	31,134	△ 259	△ 3,703

(金額の単位:百万円)

#### 3. 修正の理由

当中間期は、夏期商戦前半の天候不順により夏物を中心とする商品の販売に影響を受けたものの、家電部門におけるオール電化関連商品や新たに取組みを開始した太陽光発電システム関連商品の販売が好調に推移したこと、ファッション事業においては、ルイ・ヴィトンやロレックスなど、スーパーブランドの高価格商品の動きはやや鈍かったものの、中・低価格帯の高付加価値商品への取組みが功を奏し、売上高はほぼ計画どおり計上できる見込であります。一方、利益面におきましては、上記の要因が売上総利益率の改善に貢献したこと、また、引続き販売管理費の削減に取組んだ効果も手伝い、経常利益、中間純利益とも前回予想を上回る見込みであります。

なお、通期業績予想につきましては、上半期に引続き、高付加価値商品の販売や販売管理費の削減を推し進めてまいります。下半期に向けて、消費動向の不透明感がぬぐえない状況であることから、下半期業績予想は当初見込どおりとしております。

※本資料の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって本資料の予想数値と異なる可能性があります。

以 上